

大判焼のなかむら

創業52年を向える大判焼のなかむらは、先代のご両親が旧バスターミナルができたときに、食堂兼おやき屋を出店したのが始まりです。

当時は食堂が忙しく、おやきには中々手が回らなかったところ、札幌のホテルで料理人として働いていた現在の店主中村耕三さんが戻ってきたことをきっかけに、本格的に大判焼屋としてスタート。26年前に現在の場所に移転した。

移転した当時は、学校帰りや部活帰りにお腹を空かせた滝高や西高の生徒が沢山来ていたと話す中村さん。店の営業時間も部活の時間に合わせて、7時から8時頃まで営業していたと言う。

コンビニが至る所にできた事により、人の流れも変わり時代の移り変わりとともに現在は6時頃までの営業となっている。

懐かしくなった方は是非足を運んでみてください。中村さんが、いつも変わらない美味しい「おやき」を焼いてお待ちしております。



大町3-1-11 (☎23-5207)